

「古典を勉強する意義の自覚」と「古典の授業が好き」 の相関関係

坂 東 智 子

Correlation of “Awareness of the significance to study a classic” and
“Liking studying a classic”

TOMOKO Bando

(Received September 27, 2013)

1. はじめに

本研究の目的は、平成21年1月から2月にかけて徳島県内の4つの中学校で筆者が実施した「古文学習に関するアンケート」調査(1,342名対象)^{*1}の結果分析を行うことである。

平成14年度^{*2}、17年度の高等学校教育課程状況調査の結果報告^{*3}では、古典の学習に対する「関心・意欲・態度」が育ちにくい最大の理由は、高校生の多くが古典の学習について「普段の生活や社会生活の中で役に立つ」と思っていないことであると分析している。中学生についても同様のことがいえるのではないか。教育課程状況調査(小学校・中学校)^{*4}では、古典の授業に対する「関心・意欲・態度」についての調査は行われていない。そのため、筆者が実施した先のアンケート調査の質問項目「何のために古典を勉強すると思いますか。(自由記述)」と「古典の授業は好きですか?(5段階評価)」の相関関係を明らかにすることにより、中学生の古典嫌い解消に向けての手掛かりを探りたい。

*1 筆者が2009年(平21)1月～2月に徳島県内の4つの中学校で、1年生465名、2年生478名、3年生399名、計1,342名を対象に行った「古文学習に関するアンケート」。坂東智子(2011)「中学生の古典学習観に関する一考察—平成21年度実施のアンケート調査結果を手がかりとして—」、中国四国教育学会『教育学研究紀要第56巻』(CD-ROM版)、pp.520-525を参照ください。

*2 平成14年11月12日に国立教育政策研究所が実施した調査。「平成14年度教育課程実施状況調査(高等学校)ペーパーテスト調査集計結果及び質問紙調査集計結果」(国立教育政策研究所教育課程研究センター)、2004、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h14/index.htm

*3 平成17年11月10日に国立教育政策研究所が実施した調査。「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査 教科・科目別分析と改善点(国語・国語総合)」、国立教育政策研究所教育課程研究センター、2007、p.8、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h17

*4 平成16年1月～2月にかけて国立教育政策研究所が実施した調査。対象学年は、小学校第5、6学年、中学校第1～3学年。結果については以下のHPによる。「平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査集計結果質問紙調査集計結果国語(児童生徒質問紙・教師質問紙)」国立教育政策研究所教育課程研究センター、2006、p.1、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h15/index.htm

2. 古典学習の意義を自覚している者の方が古典の授業を好む傾向がある

分析対象とするアンケートの質問内容は、「何のために古典を勉強すると思いますか。」(何でも考えたことを自由に書いてください)である。記述の有無は後掲(表1)の通りである。

古典を勉強する理由を記述した人数の割合は、中学3年が最も高く、87.9%、最も低いのは中学2年生の81.0%であった。中1、中2、中3ともに8割以上が回答している。

表1 「何のために古典を勉強すると思いますか。」に対する自由記述回答の有無

	記述有		記述無		全体 人数
	人数	割合%	人数	割合%	
中学1年	393	85.4%	67	14.6%	460
中学2年	383	81.0%	90	19.0%	473
中学3年	346	86.9%	52	13.1%	398

* 結果集計の対象は、「古典の授業が好きですか」の質問に回答したものとした。

これは、「何のために勉強すると思いますか。」と「古典の授業が好きですか。」の5段階の回答にどのような相関関係があるのかを明らかにするためである。

* 「分からない」と記述したものについては、記述無と見なした。

表2 記述の有無による「古典の授業が好きですか。」の評定値(5:好き、4:やや好き、3:どちらともいえない、2:やや嫌い、1:嫌い)の平均値、標準偏差の比較

	中1記述		中2記述		中3記述	
	有	無	有	無	有	無
人 数	393	67	383	90	346	52
平均値	3.1	2.5	2.7	2.1	3.1	2.0
標準偏差	1.2	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2

t 検定の結果は以下の通りである。

- ・ 中学1年 t (458) = 28.20 (p < .01) 1%水準で有意差あり
- ・ 中学2年 t (471) = 37.36 (P < .01) 1%水準で有意差あり
- ・ 中学3年 t (396) = 37.80 (P < .01) 1%水準で有意差あり

3学年ともに、「何のために古典を勉強すると思いますか。」という質問に対して、回答を記述したものの方が、回答を記述しなかったものよりも、古典の授業を有意に好きだと感じる傾向がある。この結果から、「何のために古典を勉強するのか」といった古典学習の意義を実感させる古典学習指導を行うことが、古典嫌いの解消に繋がる可能性が高いことが明らかになった。

3. 「古典を勉強する理由（自由記述）」の分類による分析

(1) 大分類による分析

「何のために古典を勉強すると思いますか」という質問に対する回答（自由記述）を大分類し、各学年の上位5位までの理由を一覧にしたものが、後掲（表3）である。

3学年ともに、「昔のことを知る学ぶ」という理由が約半数を占めている。2位は、3学年ともに、「日本のことを知る学ぶ」である。3位以下は、学年によって異なっている。中学2年3年では、3位に、「昔を知り今に役立てる」が入り、中2では5位に「試験、受験のため」が、中3ではそれが4位になっている。学年が上がるにつれて、昔と今を比較する、今に役立てるといった理由が多くなり、現実的な理由「試験、受験のため」といったことへの意識も強くなっている。

後掲（表3）の「昔のことを知る、学ぶ」は、知る学ぶの対象は何かという観点で、「単に昔のこと」と記しているもの、「言葉」「文化」「文学や表現」「歴史」「思いや考え」「価値」の7つに中分類した。「昔と今を比較する」は、何を比較するかという観点から、「単に昔と今の違い」としたものの、「昔と今の考えを比較する」「昔と今の言葉を比較する」「昔の文学と現在の文学の違いを知る」の4つに中分類した。「昔を知り今に役立てる」は、何に役立てるかという観点から、「自分の考えを深める」「今にいかす」の2つに中分類した。その結果が後掲（表4）である。

表3 「何のために古典を勉強すると思いますか」の自由記述回答の大分類の各学年上位5位まで

	中学1年	中学2年	中学3年
1位	昔のことを知る学ぶ	昔のことを知る学ぶ	昔のことを知る学ぶ
2位	日本のことを知る学ぶ	日本のことを知る学ぶ	日本のことを知る学ぶ
3位	読めるようになるため	昔を知り今に役立てる	昔を知り今に役立てる
4位	言葉の歴史を知る	読めるようになるため	試験、受験のため
5位	昔と今を比較する	試験、受験のため	昔と今を比較する
5位			将来のため

(2) 中分類による分析

表4 「何のために古典を勉強すると思いますか」の自由記述回答の中分類

	中分類	中1	中1%	中2	中2%	中3	中3%
A1	昔のことを知る、学ぶ	96	20	77	16.8	67	15.8
A2	昔の言葉を知る、学ぶ	60	12.5	33	7.2	12	2.8
A3	昔の文化を知る、学ぶ	16	3.3	29	6.3	13	3.1
A4	昔の文学、表現を知る	22	4.6	24	5.3	22	5.2
A5	歴史を知る	9	1.9	11	2.4	4	0.9
A6	昔の人の思いや考えを知る	65	13.5	65	14.2	79	18.6
A7	昔のものの価値がわかるため	2	0.4	—	—	—	—

B1	昔と今の違い	13	2.7	2	0.4	4	0.9
B2	昔と今の考えを比較する	2	0.4	3	0.7	6	1.4
B3	昔と今の言葉を比較する	—	—	—	—	3	0.7
B4	昔の文学と現在の文学の違いを知る	3	0.6	2	0.4	1	0.2
C1	自分の考えを深める	3	0.6	4	0.9	5	1.2
C2	今にいかす	13	2.7	31	6.8	22	5.2
D	現在と過去の繋がりを考える	2	0.4	1	0.2	2	0.5
F	昔のことを今に伝えるため	3	0.6	10	2.2	7	1.6
G	昔と今は変わらないことをする	1	0.2	—	—	5	1.2
H	何かが出来るようになるため、能力を高める	35	7.3	17	3.7	12	2.8
I	将来のため、やっておくと何かいいことがあるため	14	2.9	6	1.3	14	3.3
J	試験、受験のため	12	2.5	14	3.1	19	4.5
K	古典に親しむ	1	0.2	4	0.9	1	0.2
L	古典でしかできないこと	1	0.2	—	—	—	—
M	義務、常識である	10	2.1	8	1.8	6	1.4
O	日本のことを知る学ぶ	56	11.7	84	18.4	70	16.5
P	言葉の歴史、言葉の変遷	20	4.2	10	2.2	7	1.6
Z	その他	21	4.4	22	4.8	44	10.4
	合計	480	99.9	457	100	425	100

中学1年で割合が最も高いのは、「昔のことを知る、学ぶ」で20.0%、次いで「昔の人の思い考えを知る」13.5%、3位が「昔の言葉を知る、学ぶ」12.5%、4位「日本のことを知る、学ぶ」、5位「昔の文学、表現を知る」であった。中学2年生で最も割合が高いのは、「日本のことを知る、学ぶ」18.4%である。日本のこと、自国のことを学ぶのだという意識が中学2年生では高まっている。次いで「昔のことを知る、学ぶ」16.8%、3位が「昔の人の思い考えを知る」、4位「昔の言葉を知る、学ぶ」、5位が「今にいかす」である。中学2年では、1位から4位までは、「○○を知る、学ぶ」が、5位に「今にいかす」という意義が出ている。

中学3年生で最も割合が高いのは、「昔の人の思いや考えを知る」が18.6%である。1年では、単に「昔のことを」知る学ぶと考えるものが多いのに対して、3年になると、古典の中に表れている「昔の人の思いや考え」心情を知るといった認識が高まっている。2位は、「日本のことを知る、学ぶ」16.5%、3位「昔のことを知る、学ぶ」、4位「昔の文学、表現を知る」、5位に「今にいかす」が見られる。

古典を学ぶ意義を、「自分の考えを深める」ためと考える学習者の数は、わずかではあるが学年が上がることに増えている。それに対して、「言葉の歴史、言葉の移り変わり(変遷)」を知る学ぶとする記述は、中1では20名、中2は10名、中3では7名と学年が上がるごとに減少している。

後掲(表5)は、古典を勉強する意義の自由記述回答の中分類の各学年ごとの上位5位までの一覧である。

表5 「何のために古典を勉強すると思いますか」の自由記述回答の中分類の各学年上位5位まで

	中学1年	中学2年	中学3年
1位	昔のことを知る学ぶ	日本のことを知る学ぶ	昔の人の思いや考えを知る
2位	昔の人の思いや考えを知る	昔のことを知る学ぶ	日本のことを知る学ぶ
3位	昔の言葉を知る学ぶ	昔の人の思いや考えを知る	昔のことを知る学ぶ
4位	日本のことを知る学ぶ	昔の言葉を知る学ぶ	昔の文学、表現を知る
5位	昔の文学、表現を知る	今にいかす	今にいかす

中学1年では、「○○を知る、学ぶ」といったものが5位までを占めている。比較する、今に役立てるといった記述は5位までに見られない。これに対して、中学2年3年になると、5位に「今にいかす」がある。さらに、最も割合の高い記述を見ると、中学1年生では単に「昔のことを知る学ぶ」といった漠然とした意義を挙げたものが最も多かったのに対して、中学2年では、「日本のことを知る学ぶ」といった日本の、自国の昔のことを学ぶのだという意識が高まり、中学3年生では、「昔の人の思いや考えを知る」という、古典の中に表されている、人々の思いや感情、心理や考え方を知るといったものに対象が焦点化されていく。

このことは、学年による発達段階の違いを示唆したものだと考えられよう。

4. 「古典を勉強する意義」の自由記述内容と「古典の授業が好き」の関係

本項では、「古典を勉強する意義」の自由記述内容と「古典の授業が好き」の関係に関して調査結果の分析考察を行う。

表6 自由記述の内容と「古典の授業が好きですか。」の平均値、標準偏差の比較

「古典を勉強する」意義 (大分類)	人数	平均値	標準偏差
<中学1年>			
A 「昔のことを知る、学ぶ」	270	3.1	1.2
A 1 「昔のことを知る、学ぶ」	96	3.1	1.3
A 2 「昔の言葉を知る、学ぶ」	60	2.9	1.1
A 3 「昔の文化を知る、学ぶ」	16	2.9	0.9
A 4 「昔の文学、表現を学ぶ」	22	3.1	1.1
A 5 「歴史を知る」	9	2.9	1.1
A 6 「昔の人の思い考えを知る」	65	3.3	1.1
B 「昔と今を比較する」	18	3.5	0.8
C 「昔を知り現在に役立てる」	16	3.9	1.0
I 「将来のため」	14	2.6	1.0
J 「試験、受験のため」	12	2.2	1.2
<中学2年>			
A 「昔のことを知る、学ぶ」	239	2.8	1.1
A 1 「昔のことを知る、学ぶ」	77	2.6	1.2

A 2 「昔の言葉を知る、学ぶ」	33	2.8	1.0
A 3 「昔の文化を知る、学ぶ」	29	2.9	1.2
A 4 「昔の文学、表現を学ぶ」	24	2.8	0.9
A 5 「歴史を知る」	11	3.0	0.9
A 6 「昔の人の考えを知る」	65	3.1	1.0
B 「昔と今を比較する」	7	3.6	1.1
C 「昔を知り現在に役立てる」	35	3.3	1.3
I 「将来のため」	6	1.7	0.5
J 「試験、受験のため」	14	2.1	1.0
< 中学3年 >			
A 「昔の事を知る、学ぶ」	197	3.1	1.2
A 1 「昔の事を知る、学ぶ」	67	3.0	1.3
A 2 「昔の言葉を知る、学ぶ」	12	2.8	0.9
A 3 「昔の文化を知る、学ぶ」	13	3.1	1.1
A 4 「昔の文学、表現を学ぶ」	22	3.1	1.1
A 5 「歴史を知る」	4	3.5	0.6
A 6 「昔の人の考えを知る」	79	3.2	1.2
B 「昔と今を比較する」	14	3.0	1.6
C 「昔を知り現在に役立てる」	27	3.9	0.9
I 「将来のため」	14	3.1	1.1
J 「試験、受験のため」	19	2.3	1.2

各学年で最も評定値の平均が高いのは、中1はC「昔を知り今に役立てる」で3.9、中2がB「昔と今を比較する」で3.6、中3はC「昔を知り今に役立てる」で3.9である。3学年ともに、単に昔を知るだけでなく「今」を照射し役立てるものであると古典学習の意義を捉えるものが、古典の授業を好きと感じる傾向が強いことが明らかになった。これは、古典の授業に、古典と現在を比較したり、古典の世界から現在を捉えるといった視点からの学習活動を組み込むことの有効性を示唆する結果となっている。学習者の現在に切り結ぶ古典学習指導の構築が課題であるといえよう。

一方、各学年で最も評定値の平均が低いのは、中1はJ「試験、受験のため」で2.2、中2はI「将来のため」で1.7、J「試験、受験のため」は2.1、中3はJ「試験、受験のため」で2.3である。3学年ともに、「試験、受験のため」といった理由から古典学習の必要性、意義を捉えているものは、古典学習を好きでないことが明らかになった。

「受験のため」「将来役に立つから」といった消極的な意識で古典を学ばせることは、「古典嫌い」を生む可能性が高いということである。

(1) 中学1年

表7 中学1年「古典を勉強する意義（自由記述）」の一部

生徒番号	好き嫌い	古典を勉強する理由（自由記述）
1108	4	昔の文化や歴史、出来事を知り、現代と比かくするなどするため。
1415	4	昔を知って、故事成語の成りゆきや、意味を理解して、自分自身への答えかけに使い、成長してゆく。
1397	4	昔の文化、昔の人の考え、想いを知るため。日本の歴史を、理解するため。（社会とはちがう見方で…）
1320	4	昔の人々の考え方や、表現のしかたを学び今にいかすため。
1643	3	昔の生活のようすや昔の人々の心情などをとらえるため。
1342	4	古い人々の考えや生き方を知り、そこからまなんだ知恵をこれからの活かし、よりよい自分を形成していくため。
1017	4	昔と今との価値観のちがいを考えるため。現代で使われているもの（故事成語）を知るため。
1009	5	昔のことを（人々の考え方や、表れてくる昔の習慣等）を感じ、今と照らし合わせ、考えを深めるため。
1051	3	自分の考えを深めてさまざまな考え方ができるようにするため。
1323	4	昔、失敗したことを現在では成功につなげるため？
1123	4	現在と過去とのつながりを考えたり、古典でしか学べないことを学ぶため。
1395	3	昔の教を今とか、次の人たちに伝えていくためだと思います。
1343	1	日本の歴史を知ったり、読解力を身に付けるため。
1020	3	語句の世界を広げ、表現ゆたかにするため
1051	3	自分の考えを深めてさまざまな考え方ができるようにするため。
1356	5	今、現在の文化ばかりでなく、昔の古い文化を知り、心を豊かにするため。
1629	5	昔の事に興味をもったり、想像力を豊かにするため！
1227	2	昔の歴史などを知っていると、大人になったとき役に立つから。
1095	5	未来を考え、すこやかな生活をおくるため。
1239	1	昔の日本のことを今の人も覚えておかないといけなから。時代はちがうけど、日本は日本だから。いっばんじょうしきだから。
1064	4	日本の文学を学ぶため。日本の文学を残していくため。
1205	4	日本をもっと深く知ってもらうため。
1353	2	日本語をもっとよく知るため。日本語のおもしろさにふれるため。
1324	3	どのようにして、今、私たちが使っている言葉ができたのかなどを知るため。
1119	4	昔の言葉を知って、今使っている言葉について深く知るため。
1044	4	現代の文にはかかれていない大切なことなどがかかっている
1087	4	昔があって今があるということを実感するため
1096	4	昔の人の文章を読んで、考えの視野を広げるため

「古典の授業が好きですか」の評定値（5：好き、4：やや好き、3：どちらともいえない、2：やや嫌い、1：嫌い）と「古典を勉強する意義（自由記述）」の内容は緊密に関係していることがわかる。例えば、評定値が5のものは、生徒番号1009「昔のことを（人々の考え方や、表れてくる昔の習慣等）を感じ、今と照らし合わせ、考えを深めるため。」、1356「今、現在の文化ばかりでなく、昔の古い文化を知り、心を豊かにするため。」、1629「昔の事に興味をもったり、想像力を豊かにするため！」のように、古典学習によってどのような力が付くのかを意識

した回答が多い。ただ漠然と学習しているのではなく、今やっていることの意味や価値を考えて学習する習慣を身に付けさせる必要性を示唆している。これに対して「4 やや好き」を見ると、生徒番号1108「昔の文化や歴史、出来事を知り、現代と比較するなどするため」、1320「昔の人々の考え方や、表現のしかたを学び今にいかすため」など、どのような能力をつけるかという所までは目的が焦点化されていない。現在に活かすためといったやや抽象的な捉え方になっている。

(2) 中学2年

表8 中学2年「古典を勉強する意義（自由記述）」の一部

生徒番号	好き嫌い	古典を勉強する理由（自由記述）
2074	2	昔（その時代の）背景などを理解したり昔の人の感性を味わうため。
2078	3	平安時代や江戸時代などの人の考えや思っていること、時代のはいけいを知るため
2104	2	昔の言葉の成り立ちや、その文をかいた人の考えをしるため。
2651	3	現代のものだけでなく、いろいろな文学を知り、其の時代の人たちの考え方やものの見方などを知るため。
2377	4	古く的生活、思想を知り、現代と対比し、違いを考えるため。
2131	2	どのようにして、今の文学が成り立っていったのかを知るため。
2117	3	温故知新という言葉があるし、過去があって今があるので、自分を良くしていくために必要だから。
2643	1	社会の歴史のように昔、あったことや作品などを学び現在に生かすため。（温故知新ともいいますし）
2307	3	昔の人の考えや思いを知り、これからの生活にいかすためだと思う。
2326	3	昔のことを知り、それを今や未来に生かすため
2320	2	昔の風しゅうとか知って現代でもそれを活用するため（？）感せいを豊かにするため。←（枕草子とか）
2097	4	昔があって今があるから。先人の考えには1でも言ったように、まとをいたものが多いので、そういうのをべきょうして、考えがかわるとか心がうごくとかあると思うから
2118	4	古典を歴史と結びつけて、その当時の人々の考え方を自分にもとり入れられるようにするため。
2116	4	すばらしいから今までずっと残っていたと思うのでそれを伝えたり日本独特の文化みたいな感じでこれからも大事にしなければならないから。
2118	4	日本独特の文化として大事にしなければいけないから
2231	2	日本の国語がどのぐらいの時から発てんしていたかをしるため
2040	3	自分達が使っている言葉ができるまでに、どんな言葉があったのかを知る。
2228	5	日本語の文化にふれるため。
2639	1	てか、いまつかわんののにならっていきみがないと思う。
2009	1	考えた事もないからわからない。
2213	1	する必要がないと思う
2657	1	意味ないと思う
2015	2	勉強してもこれからいかせる場がないと思う
2095	3	無意味だと思います。強いて言うならごらく。

中学2年は、「古典の授業が好き」な理由「古典を勉強する意義」の自由記述回答が、他の学年の記述量に比べて短いものが多い。深く考えずに思い付いたことをさっと書いたと推察される。これと古典の授業を好きではない傾向が中2に特に顕著であることは無関係ではないであろう。中2では、古典学習の楽しさや知的好奇心を喚起する古典学習指導が必要であると同時に、古典学習で何を感じ何を学んだかをメタ的に捉えさせる学習活動も必要である。

(3) 中学3年

表9 中学3年「古典を勉強する理由（自由記述）」の一部

生徒番号	好き嫌い	古典を勉強する理由（自由記述）
3013	3	昔のことを知ることで、昔の人がどんな生活をしているのかわかるから。
3034	3	自分より前の時代を生きた人の心情や様子を学ぶことができるから。
3063	3	いつも感じることは変わらないことを学ぶため。昔の人の自然での楽しみ方を学ぶため。
3046	5	昔の人々の考え、生活などを知る必要があるから。生き方を学び今に生かすため。
3059	5	昔の人々の知識や教養を身につけるため。今と昔とを比較して考えるため。
3149	5	昔のことを知るということ、昔と今はあまり代わらないということを知るため。あと、日本の心?? 武士の精神? 大事なことがかいてあるから。
3142	4	昔の言葉を理解し、歴史の流れをつかむためだと思う。また、いつか役に立つかもしれないからと考える。
3141	3	昔の人が見た景色や感動したことを知るため。昔の文化を知るため。
3067	4	昔の賢者が残した書物には、どうすれば良いか等を書いてあるから。
3576	4	昔の人の物のとらえ方や表現方法を知るため。
3017	4	昔の人の感じたことと今とを比べるため。美しい表現を知ったりするため。
3034	3	自分より前の時代を生きた人の心情や様子を学ぶことができるから。
3066	3	昔の人の価値観・感性を、予測して考えるのではなく、実際に触れ、新鮮な当時のままの文章を味わうため。
3089	3	古き良き文化を後生まで伝える 昔の人の考えを知り、現代の生活に生かす
3118	3	昔の人の考え方をより鮮明に読みとるため。テストのため。
3141	3	昔の人が見た景色や感動したことを知るため。昔の文化を知るため。
3018	4	昔の人の人生観を今と対比させて、昔の人々の心を習うため。
3074	4	昔の人が、どんなことをしてどんなことを考えていたのかなどが分かり、そこから、自分たちが考えてもみなかったおもしろい発想が生まれてくるから
3016	5	様々な時代の人々の考え方を学び、現代の人たちとの共通点や相違点から己の考えを深めていくため。
3039	4	昔の人が思ったことや感じたことなどを通して、自分自身の物事に対する考え方や思いを幅広くするため。
3035	5	感情を豊かにし、日本に古くからある趣深い情景を知るため。
3003	4	人は、どの時代でもそんなに代わっていないと思うので、昔の人たちの思っていたことや、いましめは、今の自分にも応用できるから。
3040	4	昔の人の考えなどにもふれて、いろいろな角度から周りを見たり、たくさんの表現を学ぶため。
3087	4	過去から学び、おなじ過ちを繰り返さないため
3125	4	古い時代の文化にふれてこれから生きていくための知識を得るため
3341	5	古人の考えや古い歴史を学び、その歴史の中での失敗やあやまちなどをしないようにするため。過去を学んで現代を豊かにするため。

3101	4	古人が築いた日本の文化を学び、後生に伝えていくため。
3376	5	人の生き方の目標や考えは、長い年月を経ても変わらないものがあることを知るため。
3131	4	昔の文学を知ること、心豊かに、また物事の新しい見方ができるようになるため。
3135	4	今にない考え方を知ってほしいからだと思う。
3043	2	昔の人の考え方や文章のつくり知ることによって、文章の読解能力が上がるからだと思う
3137	3	昔の日本人の感性にふれ、日本人独特の考え方を知るため。
3075	4	昔の風習や文化を知り、日本の伝統をまもるため。
3091	4	日本の文化を学ぶことだと思います。古来からの欧米人にはない、日本の上品さなどを美しく表現しているものだと思うからです
3102	3	国語は時代をこえて人間に存在しているということを理解するため
3143	1	意味が分からない 特に意味が無い、文科省からの嫌がらせでは？ メリット 友達に自慢できる
3552	1	歴史を大事にしすぎたけっかいらぬ物という物の区分けをせずむやみやたらにのこせばいいというものではない
3529	1	基本的に将来なんのやくにもたない。いみない。じょぎょうのかざり。日本を美化するためだけにしている。せんのうされている。

中学3年では長文の記述が多く見られる。「生き方」への興味関心を示す記述が、進学や進路などを考える中3の時期に特徴的な記述である。

生徒番号3066「昔の人の価値観・感性を、予測して考えるのではなく、実際に触れ、新鮮な当時のままの文章を味わうため。」は、古典の授業が好きの評定は3の生徒の回答である。しかし、古典の文章は当時の状況を生き生きと伝えてくれるという認識から生まれた記述である。生きた血の通ったものとして、古典の文章に出会い、古典の価値を学習者自身に発見させる必要性と可能性を示唆している。

評定値1（嫌い）の生徒番号3143、3552、3529の記述からは、他の学年にはない、古典学習不要論ともいえる主張が感じられる。中3は、「嫌い」の比率が3学年中最も高い。単純に嫌いだというレベルではなく、「なぜ古典を学ぶことが必要なのか」と激しく問う記述である。

5. おわりに —学習者から見た古典学習指導の実態と課題—

筆者が行った「古文学習に関するアンケート」調査の結果から抽出される、現在の中学生から見た古典学習指導の課題は以下のものである。

① 6割以上の中学生に「古文の授業」は好まれていない。特に中学2年に課題がある。

古文の授業が「好きだ」「どちらかといえばそう思う」と回答した学習者の比率は、中学1年が36.6%、中学2年が24.2%、中学3年が38.1%で、3学年ともに、6割以上の生徒が「古文の授業」を好きだとは思っていないことが明らかになった。中学2年の「好きだ」の回答は5.9%にとどまっている。「平成14年度教育課程状況調査（高等学校）」の「古文は好きだ（そう思う）」の7.2%をさらに下回る数字である。

② 学年ごとの古典学習指導の課題は以下のものである。

中1……意味や内容の分かりにくさ。歴史的仮名遣いの読みに問題がある。

中2……意味や内容の分かりにくさ。古典学習への興味・関心が低いこと。

中3……意味や内容の分かりにくさ。ことば（古語）が分かりにくいこと。

学年ごとの問題点、課題を指導者が明確に認識することが必要である。さらに、それらを意識した古典学習指導を構築する必要がある。特に、中学2年で「古典の授業」を嫌いにさせないこと、古典への興味・関心を喚起することが肝要である。

③ 古典学習の意義を実感させる古典学習指導を構築する必要がある。

3学年ともに、「何のために古典を勉強すると思いますか。」という質問に対して、回答を記述した者の方が、回答を記述しなかった者よりも、古典の授業を有意に好きだと感じる傾向がある。この結果から、古典学習の意義を実感させる古典学習指導を行うことが、古典嫌いの解消に繋がる可能性が高いことが明らかになった。指導者が、「何のために古典を勉強するのか」「古典学習によってどのような国語の力が身につくのか」を十分に考え抜き、明確な回答を用意して古典学習指導を行うことの必要性が再確認された。

【参考文献】

国立教育政策研究所教育課程研究センター（2004）「平成14年度教育課程実施状況調査（高等学校）ペーパーテスト調査集計結果及び質問紙調査集計結果」（http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h14/index.htm）

国立教育政策研究所教育課程研究センター（2006）「平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査集計結果質問紙調査集計結果国語（児童生徒質問紙・教師質問紙）」（http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h15/index.htm）

国立教育政策研究所教育課程研究センター（2007）「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査 教科・科目別分析と改善点（国語・国語総合）」（http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h17）

鳴島甫（2007）「古典教育再考—七割もの生徒に嫌われている古典教育からの脱却—」『日本語学』2007年2月号、明治書院

坂東智子（2011）「中学生の古典学習観に関する一考察—平成21年度実施のアンケート調査結果を手がかりとして—」中国四国教育学会『教育学研究紀要第56巻』（CD-ROM版）

【附記】本稿は、平成24年第64回中国四国教育学会山口大会（2012年11月11日）において、口頭発表した際の草稿の一部を加筆・修正したものである。